

出演者プロフィール



福盛進也(drums)

独特で繊細なシンバルワーク、そしてメロディック且つリズムックなインタープレイで演奏を展開させるドイツで活躍中のドラマー。またダイナミクスの幅が広く詩情的なプレイを得意とする。1984年1月5日、大阪市阿倍野区生まれ。15歳でドラムを始め、17歳の時に芸術高校にて音楽を学ぶために単身で渡米。その後、ブルックヘブンカレッジ、テキサス大学アーリントン校を経て、ボストンのパークリー音楽大学を卒業。10年間のアメリカでの活動後、2013年に拠点をミュンヘンに移し欧州各国で活動を開始。繊細で巧みなドラム・プレイだけでなく、作曲家としても高い評価を得ている。

2017年に自身のトリオで、ECMレーベルから日本人二人目となるリーダー・アルバム「For 2 Akis」を録音し、2018年2月に世界リリース。現在、トリグヴェ・サイム(sax)、ウォルター・ラング(p)との新たなトリオの他、様々なアーティストとの演奏活動、また日本では伊藤ゴロー(g)、佐藤浩一(p)とのプロジェクトなどで活躍中



ソンジェ・ソン Sungjea Son (sax)

5歳からピアノ、小学校でクラリネットを始める。ソウル芸術高等学校でクラシックを専攻、延世大学校作曲科を卒業。その後、ジャズを学ぶために米国ボストン・パークリー音楽大学に進学、「Outstanding Performer's Award」「Fredric Weber Award」などを受賞し卒業後、ニューヨークのジャズの名門クイーンズカレッジ大学院を卒業。ジャズサックスの巨匠 Bill Pierce、George Garzone、Antonio Hart、ピアニスト Sir Roland Hannaらに師事。ソプラノ、アルト、テナーサックス、クラリネットすべての楽器に渡り、様々なサウンドを自由自在に表現することで知られている。現在、韓国の伝統音楽を取り入れたグループ、Near East Quartetを率いて、ドイツの名門レーベル ECMより最新作をリリース。その他、ドラマ挿入歌「Goodbye」のヒットなど、その活動は多岐に渡る。現代韓国ジャズシーンの中心人物の一人。



イェウォン・シン Yeawon Shin(vo)

ソウル出身。同徳音楽大学を卒業後、NYに渡りニュースクール音楽大学にてJazz and Contemporary Musicを専攻。2009年にデビューアルバム「Yeawon」をリリース。Mark Turner(ts)や Jeff Ballard(p)ら NYのトップミュージシャンに加え、ブラジルの巨匠 Egberto Gismonti も参加し大きな話題を呼び、アジア人として初のラテン・グラミー賞にノミネートされた。2013年にはアジア人初のヴォーカリストとして、ドイツの名門レーベル ECMより「Lua ya」をリリース。現在、ドイツ、ミュンヘンを拠点に活動中。



ジン・ヤン・パーク Gene Young Park(piano)

1994年に3歳よりクラシックピアノを始め、音楽を学ぶ。中学校時代にはソウル市内の音楽英才学校に入学、クラシック作曲課程を修了。ジャズ音楽愛好家の父の影響でジャズを始め、以後、高校時代には様々なジャンルの演奏活動で頭角を表す。2009年「傾向実用音楽コンクール」で「器楽部門大賞」を受賞、同年、「チャラ島国際ジャズコンクール」で「best creativity」を受賞。リーダー作「graceful river」リリース後、米国ボストン・パークリー音楽大学に進学。同校を首席で卒業後、ニューヨークにて活動。帰国後アルバム「white in Snow」をリリースし好評を博す。現在、若手 No1 の作曲家・ピアニスト。



さとうじゅんこ(vo)

秋田市生まれ。歌手。ジャワガムランのプシンデン(女声歌手)として活動する他、滞空時間、菜の花楽団、スマリールなどに歌手として参加。グローバリズムの抱える問題に向き合いながら創造力豊かなアートネットワークへの貢献を志す。



甲斐正樹(bass)

幼少期兵庫県芦屋市出身。幼少期に、世界的に有名な芦屋の前衛美術グループ ”具体”、の山崎つる子氏に自由な芸術表現を習う。甲南大学入学とともに、コントラバスを始め、ジャズ研のビッグバンドやコンボで演奏を始める。大学の専攻では、ユング心理学、河合隼雄について学び、自分の中の深い場所とのつながりを考え始める。大学卒業とともに、谷口知巳氏、浜村昌子氏にインプロビゼーション、即興演奏を習い、多大な影響を受ける。その後、アメリカにて Berklee College of music に奨学金を得て入学。その後、ノルウェーの首都オスロに住む。Christian Wallumrød, Håkon Thelin, Anders Jormin からのレッスンを受け北欧の音楽を学ぶ。現在、ドイツ、ミュンヘンを拠点に活動中。



スペシャル・ゲスト：加藤登紀子(vo)

1943年ハルビン生まれ。1965年、東京大学在学中に第2回日本アマチュアシャンソンコンクールに優勝し歌手デビュー。1966年「赤い風船」でレコード大賞新人賞、1969年「ひとり寝の子守唄」、1971年「知床旅情」ではミリオンセラーとなりレコード大賞歌唱賞受賞。以後、80枚以上のアルバムと多くのヒット曲を世に送り出す。国内コンサートのみならず、1988年、90年 N.Y.カーネギーホール公演をはじめ、世界各地でコンサートを行い1992年、芸術文化活動における功績に対してフランス政府からシュバリエ勲章を授けられた。近年は、FUJI ROCK FESTIVAL に毎年出演し、世代やジャンルの垣根を超え観客を魅了し続けている。また年末恒例の日本酒を飲みながら歌う「ほろ酔いコンサート」は45年以上続いていて人気のイベントとして定着している。歌手活動以外では女優として映画『居酒屋兆治』(1983年)に高倉健の女房役として出演した。宮崎駿監督のスタジオジブリ・アニメ映画『紅の豚』(1992年)では声優としてマダム・ジーナ役を演じた。地球環境問題にも取り組み、1997年 WWF ジャパン顧問及び WWF パンダ大使就任。

2000～2011年には環境省・UNEP 国連環境計画親善大使に就任。アジア各地を訪れ、自らの目で見た自然環境の現状を広く伝え、音楽を通じた交流を重ねた。

EAST MEETS EAST



2019 12.14 (SAT)
16:00 OPEN
17:00 START

¥2,000 (高校生以下無料)

すみだ産業会館
サンライズホール
東京都墨田区江東橋
3-9-10 丸井錦糸町店 8階

- 福盛進也(ds)
- 🎷 ソンジェ・ソン(sax)
- 🎤 イエウォン・シン(vo)
- さとうじゅんこ(vo)
- 🎷 ジン・ヤン・パーク(p)
- 甲斐正樹(b)



主催 EAST MEETS EAST 実行委員会
「隅田川 森羅万象 墨に夢」実行委員会

共催 墨田区
特別協賛 YKK 株式会社

制作協力 株式会社シャ・ラ・カンパニー
後援 駐日韓国大使館 韓国文化院

EAST MEETS EAST

日本/韓国のこころの歌 ■ 동쪽이 동쪽을 만나다

日韓のトップ・ジャズミュージシャンが送る日本と韓国の“こころの歌”

韓国の代表的サックス奏者・作曲家 ソンジェ・ソンとドイツ・ミュンヘン在住の日本人ドラマー・作曲家 福盛進也。この2人のアジア人アーティストがソウルで出会い、互いの音楽性に深く共鳴したことから生まれたプロジェクト「EAST MEETS EAST」。アジアのアーティスト同士の出会いとネットワークを目的としたこのプロジェクトの記念すべき第一弾「日本/韓国のこころの歌」。日本で暮らす様々な年代の韓国人・在日韓国人の皆さんを中心に思い出深い日本と韓国の名曲をリサーチ、日韓混合のスペシャルバンドで演奏します。この日は2人が所属するドイツの名門ジャズレーベル「ECM」の韓国人ヴォーカリスト、イエウォン・シン、韓国のナンバーワン若手ピアニスト、ジン・ヤン・パークを加えたトップ・ミュージシャンたちによるそれぞれのバックグラウンドが共鳴し、透明な郷愁感の広がる演奏でお送りいたします。「近くて遠い国」とも言える韓国と日本。今こそ、音楽を通して耳と身体、空間から互いを感じてください。

出演者 ■ 출연자



福盛進也 (ds)
Shinya Fukumori 신아후쿠모리



ソンジェ・ソン (sax)
Sungjae Son 손성제



さとうじゅんこ (vo)
Junko Satou 준코사토

Special Guest



加藤登紀子
Tokiko Kato 카토토키코



ジン・ヤン・パーク (piano)
Gene Young Park 박진영



イエウォン・シン (vo)
Yeahwon Shin 신예원



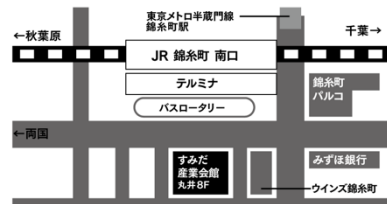
甲斐正樹 (bass)
Masaki Kai 마사키카이

2019 12.14 (SAT)

16:00 OPEN 17:00 START

すみだ産業会館 サンライズホール

東京都墨田区江東橋 3-9-10 丸井錦糸町店 8階
(JR錦糸町駅南口・東京メトロ錦糸町駅1番出口徒歩3分)



チケット

予約/当日
¥2,000 (高校生以下無料)

チケット申込み

Pass Market (<https://passmarket.yahoo.co.jp/>)
※「EAST MEETS EAST」で検索

お問合せ
meetseast@gmail.com
(EAST MEETS EAST 実行委員会)

<https://www.facebook.com/meetseast/>

<https://twitter.com/eastmeetseast2>